

群馬県 グループホームよろこび(つつじ) 地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	「うれしい たのしい その人らしい」という理念の作成及び館内に掲示し、職員にもカンファレンス等で話している。	○ 今後も継続して職員だけでなく、地域に浸透するよう努力する。
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	カンファレンス等で職員に話しをする。	○ 今後も折にふれ、職員に浸透するよう努力する。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	館内の見やすい場所に掲示し、おりにふれ入居者及び入居者の家族に説明をしている。	○ 今後も入居者及び入居者の家族に説明をして理念を実践できるよう努力していく。
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	隣近所の人と気軽に気軽に立ち寄っていただき、日常的にお付き合いをしている。近所は農家が多いので野菜のおすそわけ等頂いたりもしている。	○ 今後も地域とのかかわりを深く持って運営していく。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	地域のとなり組に所属し、地域のお祭り、清掃活動に参加している。	○ 今後も地域とのかかわりを深く持って運営していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ホーム入居希望者の家族や地域住民の介護相談、見学等受けている。	○	今後も継続して、ホームでご協力できることは地域に貢献出来る様努力する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価表、及び外部評価表をファイルし、。職員に回覧している。又前年度の評価をもとに、改善できるところは改善している。	○	今後も改善に取り組んでいく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議を実施し、その内容は議事録にまとめ、職員にも回覧している。	○	今後も継続して、会議での内容をサービス向上に活かし市町村や地域、利用者の御家族のご意見を取り入れ、より良いサービスが提供出来る様努力する。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設長は市町村の主催する介護認定審査会の会員として市町村の業務に関して協力をしている。又、運営上の疑問点等市町村担当者と連絡を密に取り合い連携を図っている。	○	今後も継続して連携を強化していく。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ご利用者の1人で、実際に生活保護の対象になる方の支援を行って関係各所に連絡、申請代行、調整等を行っている。	○	理念にそって、その人らしく生活できるよう、出来るだけの支援を行っていく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止は当然であると考えて、日々の業務にあたっている。	○	今後も利用者の安全、安心の生活を継続して提供出来る様努力する。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の説明は十分に納得の頂けるよう時間をかけて行っている。又疑問点等も都度対応している。	○ 今後も継続して契約時等には説明を丁寧に行いご理解を頂くようにしていく。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	現状、苦情等はないが、もしあれば地域密着運営推進会議等にも報告し、運営に反映させていく。	○ 意見、不満、苦情等はないが、もしあれば地域密着運営推進会議等にも報告し、運営に反映させていくために、推進会議にもそういった相談をした。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	現在ご利用者の家族には面会時に職員から日常の状況の報告を行い、ご理解を得ている。又あまり面会のないご家族には折をみて電話にて近況報告をおこなっている。	○ 今後は定期的にホーム便り等作成し、さらに連絡の強化をはかって行くようにする。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に関連内容の記載を実施。又ホーム内に苦情相談に関する掲示を行っている。又、ホーム内で苦情相談の担当者を設置し、対応する準備をしている。	○ 今後も継続して不満苦情のないようにサービスの向上を目指し、又介護相談等にも積極的に助言出来る様関連各所と連携をはかっていく。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的にカンファレンスを実施して、職員間の意見の交換を行っている。その会議で話し合った内容をケアマネージャー(計画作成担当者)の指導にそって、ご利用者のケアサービスに反映させている。	○ 左記の内容を今後も継続し、さらに内容の向上をはかっていくよう努力する。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	必要に応じて職員の確保に努めているが、現状は介護職員の不足がホーム運営にとって最大の課題点となっている。	現在の社会情勢(景気がよい)を受けて介護職の不足を懸念している。この問題はホーム単独では対応ができない問題であると認識している。出来るだけの努力はしていく。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホームでは出来るだけ職員の移動、退職がないように気を配っているが介護職員の流動化はどうしても避けられず大変苦慮している。	同上

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の研修参加を積極的に行っている。群馬県立高齢者介護総合センター主催のケア技術向上研修講座、レクレーション研修等に参加している。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続して群馬県立高齢者介護総合センター等の研修会等に参加し、職員の育成に努力していく。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>現在館林のグループホームの運営されている同業者の方たちと交流を持って意見交換や情報交換などを積極的に行っている。又群馬県のグループホーム協会に所属し、県内の情報収集等行っている。</p>	<p>○</p> <p>左記の内容を今後も継続し、さらにサービスの向上に努力する。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>行事終了後の慰労会や新年会、暑気払い等折にふれ実施している。又業務に関しての相談等は施設長、社長、職員同士と活発に行っている。</p>	<p>○</p> <p>今後も継続して職員のストレス軽減のため取り組みに力を入れて対応する。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>現状、当ホームでは職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように出来る範疇で努めている。研修にも参加している。</p>	<p>左記の内容を今後も継続し、さらにサービスの向上に努力し職員がやる気を持って業務にあれるよう配慮する。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>計画作成担当者、又は介護職員がご利用者とのコミュニケーションを良く取り要望をきき、出来る範囲で対応するように努めている。</p>	<p>○</p> <p>左記の内容を今後も継続し、さらに信頼関係の向上に努力しご利用者が不便のないように努める。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居時の前後に御家族の困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、十分に時間をかけて話し合いを行っている。又疑問点等也都度できる範囲で対応している。</p>	<p>○</p> <p>左記の内容を今後も継続し、さらに御家族の困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくりご家族との信頼関係の向上に努める。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームでは入居希望相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。実際に入居から、在宅復帰をしたご利用者もいるし、来所されたり、電話でのご相談にも良く対応している。	○	左記の内容を今後も継続し、さらに本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応するよう配慮し、援助していく。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入所の期間を設けてご利用者、御家族の方達が場の雰囲気になじめるよう配慮をしている。	○	左記の内容を今後も継続し、さらにサービスの向上に努力する。
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	認知症共同生活介護とは、共同生活の一環と考えている。だから出来る範囲で、ご利用者も出来ることは職員と一緒に日常生活を営めるよう、食事の用意や、洗濯、清掃活動等行っている。職員も歌を教えていただいたり、昔のこと教えていただいたりしている。	○	左記の内容を今後も継続し、さらにご利用者本人から学んだり、支えあう関係を築いていくよう努力する。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	当ホームの行事、施設祭、クリスマス会等には一緒に参加していただき交流を密に図っている。又面会時も近況報告を行い、ご利用者の状態を出来るだけタイムリーにお伝えし、ご理解を得るよう努めている。	○	左記の内容を今後も継続し、さらにご利用者本人と一緒に支えていく関係を築いていくよう努力する。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時又は面会時に、ご利用者本人とご家族とお話をよく聴く機会をつくり、関係性をよく理解するよう努めている。又その内容に沿ってご利用者本人と御家族との関係が、より良い関係が築いていけるように支援している。	○	左記の内容を今後も継続し、さらにご利用者本人、御家族との関係が、より良い関係を築いていけるように援助する。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現状、出来る範囲で、ご利用者本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。御家族以外の面会等も本人又は御家族の了解を得て、積極的に受け入れている。	○	左記の内容を今後も継続し、さらにご利用者本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援する。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	現状、出来る範囲で、ご利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。職員は認知症という病気の特徴と理解し、ご利用者間のトラブルがないように配慮している。	○	今後も継続して利用者同士が関わり合い、支え合えるように援助対応するよう努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	現状、出来る範囲で、サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。在宅復帰をしたご利用者は、同一法人のデイサービスに通われていたり、必要な援助を継続して行っている。	○	左記の内容を今後も継続し、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしていく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	定期的カンファレンスを実施して、職員間の意見の交換を行っている。その会議の一環でご利用者に傾聴をし、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。その内容はご利用者のケアプランに反映させている。	○	左記の内容を今後も継続し、ご利用者、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めていくよう努める。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らしの把握については入居時の聞き取り調査等で一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等を書類にまとめている。	○	左記の内容を今後も継続し、さらにご利用者に傾聴等を行い、生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めていく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ケース記録、排泄記録、食事量記録、バイタルチェック等を行い、ご利用者の心身状態の把握に努めている。	○	左記の内容を今後も継続する。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的カンファレンスを実施して、職員間の意見の交換を行っている。会議で話し合った内容をケアマネージャー(計画作成担当者)がまとめ、利用者のケアサービスに反映させている。その会議の一環でご利用者に傾聴をし、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。又家族の方にも説明し理解を得ている。	○	左記の内容を今後も継続する。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	上記の通りカンファレンスにてその時々のご利用者の状態像を把握、問題の検討を行っている。ケアマネージャー(計画作成担当者)は適時、介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合いをし、対応している。	○	左記の内容を今後も継続する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録、排泄記録、食事量記録、バイタルチェック等行い、ご利用者の心身状態の把握に努めている。又、状態の変化等があり、対応の変更が有る場合は、申し送りノートを使用し介護職員の情報の共有化に努めている。	○	今後も継続して利用者の状態把握に努め、情報を共有しながらケアの実践・結果、気づきや工夫を行っていくよう努める。又そういった記録をケアマネージャー(計画作成担当者)は介護計画の見直しに活かし、よりよい介護サービスの提供が出来るよう努める。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	当ホームが多機能かどうかは分からないが、ご利用者本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、柔軟な支援に努めている。		前述したとおり、在宅復帰をしたご利用者は、同一法人のデイサービスに通われていたり、必要な援助を継続して行っている。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ホームの行事等に参加していただいたり、地域の皆さんと協働している。市町村やボランティア、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。		左記の内容を今後も継続する。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービスの活用支援については、本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。		左記の内容を今後も継続する。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターと協働している。		左記の内容を今後も継続する。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当ホームでは、医療面の業務を契約している医療機関にて(多々良診療所)2週間1回定期的に往診していただき、健康管理を行っている。又緊急時は館林厚生病院にて対応するようにしている。	○	左記の内容を今後も継続する。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	左記の内容を今後も継続する。
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	左記の内容を今後も継続する。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	左記の内容を今後も継続する。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	左記の内容を今後も継続する。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	重度化や終末期に向けた支援はご利用者ごとに状態が異なるため、対応もさまざまであるが、ご利用者本位の対応を検討し今後も業務に取り組んでいく。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	御家族の希望等で特養等に転所する場合は、先方の相談員との連携を積極的に行い、又御家族とも十分な話し合いを持って、ご利用者に出来るだけダメージのない方法を取るよう努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	当ホームでは、プライバシーの確保の徹底については就業規則等に守秘義務の明記を行い、又カンファレンス等会議の場で適時職員に徹底を図っている。又、言葉かけや対応について、ご利用者の誇りやプライバシーを損ねないように気を配っている。	○ 左記の内容を今後も継続する。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	当ホームでは、利用者の希望の表出や自己決定の支援については出来るだけ利用者の判断できる範囲で意思決定を行っていただくよう生活を支援している。但し認知症の状態によって計画作成担当者及び介護職員が相談し、利用者本位で判断するようにしている。	○ 左記の内容を今後も継続する。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	当ホームでは、日々のその人らしい暮らしの支援については、出来るだけ利用者のペースにあわせて対応するよう配慮している。	○ 左記の内容を今後も継続する。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	当ホームでは、その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。お化粧が出来る方は、お化粧に支障がないよう職員が化粧品の管理や、お手伝いを行うようにしている。	○ 左記の内容を今後も継続する。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	当ホームでは、食事を楽しむことのできる支援について利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。隣接している当ホームの畑にて栽培した野菜を遺書に収穫したり、それを使った料理等行っている。	○ 左記の内容を今後も継続する。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒やタバコは健康管理、及び事故防止のため当ホームでは原則禁止とさせていただいているが、御家族の了解や協力があれば催し物行事等の場合、認めている。おやつは毎日提供し、好みを聞いたりして対応している。	左記の内容を今後も継続する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	当ホームでは、利用者の状態に合わせて、排泄パターンを検討し、ストレスが出来るだけかからないよう排泄の支援を行っている。	○	左記の内容を今後も継続する。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ホーム運営をしていくにあたり、原則として入浴の曜日や時間帯を決めて対応するようにはなっているが、入浴拒否の強い利用者に関しては特に曜日や時間は設定せず入りたいときに 入っていただくよう支援している。		左記の内容を今後も継続する。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	当ホームでは、安眠や休息の支援について、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	○	左記の内容を今後も継続する。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホームでは、利用者の状態に合わせて、出来るだけ、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割を担っていただき、生活の支援を行っている。	○	左記の内容を今後も継続する。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当ホームでは利用者本人がお金を持つことの大切さを理解しているが、ホーム運営をしていくにあたり、原則として金銭のトラブルを未然に防止するため、お金の管理は事務所に管理するようにしている。必要に応じて、預かり金にて品物を購入する支援は行っている。	○	左記の内容を今後も継続する。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	当ホームでは利用者本人が事業所の中だけで過ごさずに、戸外に出かけられるよう支援している。散歩や歩行訓練を職員と一緒にを行うよう支援している。	○	左記の内容を今後も継続する。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	当ホームでは季節のよい時期中心だが利用者本人が他の利用者や職員とともに外出する機会をつくり、外出を楽しんでいる。	○	左記の内容を今後も継続する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	○	左記の内容を今後も継続する。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。訪問時は職員がお茶やお菓子を提供し、面会を楽しんでいただくよう配慮している。	○	左記の内容を今後も継続する。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	○	運営者及び職員が身体拘束廃止シンポジウム等に参加している。今後も身体拘束をしないケアに取り組んでいく。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	当ホームでは、運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいるが、認知症の状態によって利用者にとって危険、及び事故が予想される場合は、計画作成担当者及び介護職員が相談し、利用者本位で判断するようにしている。	○	左記の内容を今後も継続する。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。夜間も定期的に巡回を行い、安全確認及び状態確認を行っている。	○	左記の内容を今後も継続する。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	当ホームでは、一人ひとりの認知症の状態によって利用者にとって危険、及び事故が予想される場合は、計画作成担当者及び介護職員が相談し、利用者本位で判断するようにしている。	○	左記の内容を今後も継続する。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	当ホームでは、ヒヤリハット等を作成し、事故防止に取り組んでいる。又、期せずして事故が発生してしまった場合も緊急対応マニュアルを作成し、緊急時に備えている。	○	左記の内容を今後も継続する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	上記の通り、期せずして事故が発生してしまった場合も緊急対応マニュアルを作成し、緊急時に備えている。又職員も救急救命の講習会に参加して訓練を行っている。	○	左記の内容を今後も継続する。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	館林地区防火対象物連絡協議会に参加し、又、消防訓練を通じて所轄の消防署との連携をはかり、火災や地震、水害等の災害時に、協力を得られるよう働きかけている。	○	左記の内容を今後も継続する。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	当ホームでは、利用者の状態変化に合わせ都度、ご家族には利用者に関わり得るリスクについて説明し、対応を相談している。	○	左記の内容を今後も継続する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	当ホームでは、毎朝バイタルチェックを行い利用者の状態変化に合わせ、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。又その際も、かかりつけ医に相談し対応の指示を仰ぐようにしている。	○	左記の内容を今後も継続する。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	当ホームでは利用者の内服一覧表を作成し、内服の内容を管理するようにしている。又定期受診等で内服の内容に変更があった場合は申し送りノートを利用して職員間に周知徹底を図っている。	○	左記の内容を今後も継続する。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	当ホームでは、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等(体操や歩行訓練)に取り組んでいる。又期せずして便秘になってしまった場合は、かかりつけ医に相談し対応の指示を仰ぐようにしている。	○	左記の内容を今後も継続する。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔内の清潔保持については口腔ケアを行っている。	○	左記の内容を今後も継続する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や栄養バランス、水分摂取量に配慮した支援を行っている。食事メニューや食事量チェック表にて管理している。	○	左記の内容を今後も継続する。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	疥癬予防マニュアルを作成し、その内容に沿ったケアを実践している。	○	今後は感染症予防全般のマニュアルを整備してより細やかな対応を行っていく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理マニュアルを作成し、その内容に沿って食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	○	左記の内容を今後も継続する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ホーム駐車場からのアプローチに花壇や畑があり、ご家族や近所の方達だけでなく、利用者も親しんでいただけるよう配慮をしている。	○	左記の内容を今後も継続する。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの壁飾りや、装飾によって季節感を取り入れ、居心地のよい空間を提供している。	○	左記の内容を今後も継続する。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室や静養するスペースを確保している。又リビングではソファーが2組あり、利用者同士の憩いの場として活用している。	○	左記の内容を今後も継続する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを 活かして、本人が居心地よく過ごせるような工 夫をしている	認知症の状態によって利用者にとって危険、及び事故が予 想される場合以外は、なじみの家具や衣類を持ち込んでい ただき、居心地良く暮らせるように配慮している。	○	左記の内容を今後も継続する。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換 気に努め、温度調節は、外気温と大きな差が ないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめ に行っている	環境整備の一環として、居室清掃の際、換気を行うようにし ている。又、温度調節は、利用者の状況に応じてこまめに 行っている。	○	左記の内容を今後も継続する。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れる ように工夫している	手すり等を配し、出来るだけ利用者が自立した生活が送れる ように工夫している。	○	左記の内容を今後も継続する。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失 敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫してい る	トイレや浴室、各居室に表札を掲示し、混乱や失敗を防ぎ、 自立して暮らせるように配慮し支援している。	○	左記の内容を今後も継続する。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだ り、活動できるように活かしている	広いホーム駐車場や庭、花壇や畑があり、入居者が出来る だけ自由に楽しめるよう支援している。	○	左記の内容を今後も継続する。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)